資料Ⅲ－３

供給者に対する意見照会結果

質　問　事　項	割合（%）
●全分野共通	
政府調達に関する年度当初の提供情報の活用	
a 有益であり、積極的に活用している	28.8%
b 時々活用している	38.5%
c 活用していない	32.7%
個々の調達案件に関する情報提供方法の利便性等	
a 十分満足できる	27.1%
b ある程度満足できる	66.7%
c 不満足である	6.3%
「政府調達における我が国の施策と実績」について	
a 満足しており、活用している	16.1%
b ある程度満足している	80.6%
c 不満足	3.2%
調達実績一覧のホームページ掲載について	
a 満足しており、活用している	8.2%
b ある程度満足している	57.1%
c 不満足	2.0%
d 掲載されていることを知らなかった	32.7%
随意契約、指名競争の縮減による競争性、透明性の確保	
a 十分確保されている	22.9%
b ある程度確保されている	68.8%
c 確保されていない	8.3%
総合評価落札方式について	
a 適正な評価、競争性の確保に十分寄与している	18.4%
b 〃 にある程度寄与している	78.9%
c 〃 に寄与していない	2.6%
苦情処理制度活用の検討	
a 苦情処理制度の活用を検討したことがある	7.7%
b 苦情処理制度の活用を検討したことがない	67.3%
c 苦情処理制度について十分な知識を持ち合わせていない	25.0%

質　問　事　項	割合（%）
●電気通信・医療技術分野共通	
総合評価落札方式の標準ガイドにおける評価方法	
a 適当である	21.4%
b 概ね適当である	78.6%
c 適当でない	0.0%
総合評価落札方式の導入基準額（38.5 万ＳＤＲ）	
a 適当である	87.5%
b 引き下げが必要である	8.3%
c 引き上げが必要である	4.2%
技術仕様の公平性	
a 措置どおりに行われている	12.5%
b 概ね措置どおりに行われている	72.5%
c 措置どおりに行われていない	15.0%
●その他	
総合評価落札方式の導入基準額（80 万ＳＤＲ） （コンピューター（含むサービス）分野）	
a 適当である	80.0%
b 引き下げが必要である	20.0%
c 引き上げが必要である	0.0%
「情報システムに係る政府調達制度の見直しについて」による取組み	
a 適当である	23.1%
b 概ね適当である	61.5%
c 適当でない	15.4%
情報システムの調達に係る総合評価落札方式の標準ガイドにおける評価方法 （加算方式について）	
a 適当である	25.0%
b 概ね適当である	62.5%
c 適当でない	12.5%

※クエスチョネアへは計 52 者が回答。
※四捨五入により百分率の合計が 100%にならない場合がある。
※設問に無回答の者は除いた。